



守谷市立大野小学校グランドデザイン2025

個性を伸ばし、豊かな人間性のある児童生徒の育成

- 確かな学力の育成
- 豊かな心をはぐくむ教育の推進
- 健康と体力をはぐくむ教育の推進
- 地域とともにある学校づくり

目指す学校像

- 互いを思いやる言葉が響き合う学校
- 夢をはぐくみ、個性を伸ばし、楽しく学べる学校
- 保護者や地域から信頼される学校

学校経営の方針

笑顔で登校、笑顔で下校、安心して学べる学校

- 互いを尊重し合い、誰もが楽しく学べる学校づくりをする。
- 一人一人の児童の成長を目指して協力し合える教職員集団をつくる。
- 家庭や地域と連携して児童を育てる、地域とともにある学校づくりをする。

守谷中学校区9年間で目指す児童・生徒像

- 【知】自ら学ぶ子・・・自ら学び主体的に考え、行動できる子
- 【徳】思いやりのある子・・・人間性豊かで思いやりがあり、助け合える子
- 【体】たくましい子・・・心身共にたくましく、最後までやり抜く子

学校教育目標

自ら学び 人間性豊かで 心身ともに健やかな児童の育成

今年度の重点目標 ～もりやの学校のニューノーマルを基盤として～

- ・ニューノーマルを踏まえた、守谷中学校区保幼小中高一貫教育を推進する。
- ・主体的、対話的に課題に取り組み、学びを広げ深める児童生徒を育てる。
- ・認め、支え、高め合う学級づくりを通して人権意識をもった思いやりのある児童生徒を育てる。
- ・ICT教育資源を有効活用し、全職員が一体となって学校の教育力を高める。
- ・Team機能を発揮し、児童生徒と向き合うための時間を確保する業務の効率化・能率化を図る。

組織目標

- 「**おおいに学ぶ子**」・・・児童が主役の授業づくり
- 「**おもいやりのある子**」・・・自他を大切にしている児童の育成
- 「**のびのび遊ぶ子**」・・・健やかな体力の育成

目指す教師像

- 1 分かる授業を工夫する教師
- 2 繰り返し丁寧に児童に関わる教師
- 3 ほめて、認めて、やる気をもたせる教師
- 4 目をかけ、声をかけ、心をかける教師
- 5 温かく、厳しく、やる気をもたせる教師

今年度の守谷中学校区一貫教育重点目標

- 【学習】 つながりを生かして、自ら学び、判断し、表現する児童生徒の育成
～ニューノーマルを踏まえた主体的・対話的で深い学びを通して～
- 【生活】
 - ① 「みそあじ運動」の展開
 - ② 小中一貫生活スタイルの推進

今年度の大野小学校の研究テーマ

単元ガイダンスを生かし、児童が見通しのもてる授業づくり

確かな学力の育成（おおいに学ぶ子）

自ら学ぶ子を育てるために

- ① 守谷型ラーニングスタイルを実践し、自ら学ぶ意欲を引き出す魅力ある授業づくりをする。
 - ・4つの授業スタイル（①探究②協働③振り返り④定着）に焦点を当てた守谷型ラーニングスタイルの実践と深化
 - ・1人1台端末を活用し、話し合いの場を意図的に設定（自他のよさに気づき、互いに認め合う場）
 - ・ICT機器を活用した授業の日常化
 - ・自らの学びを目指した校内授業研究の推進
- ② ガイダンス機能を生かした授業づくりをする。
 - ・児童に学習する目的意識をもたせた授業づくり
- ③ 外国語教育の充実
 - ・オンライン英会話の実施
 - ・ALTとのTTによる英語学習の充実
- ④ 特別支援教育の充実
 - ・支援を必要とする児童を早期発見するための読み書きスクリーニングの実施
- ⑤ 家庭学習の習慣の定着と充実を図る。
 - ・1人1台端末を活用した家庭との連携による家庭学習の充実

<具体的な目標>

- ・県学力診断のためのテストにおける平均正答率の向上
- ・「授業が楽しい」と回答する児童90%以上
- ・ICT機器活用授業を「楽しい」と感じる児童 90%以上
- ・家庭学習時間（学年×10+10分）80% 達成

健康と体力をはぐくむ教育の推進（のびのび遊ぶ子）

たくましい子を育てるために

- ① 危機回避能力を育成し、自分の命は自分で守る力を育てる。
 - ・全教職員による交通安全、生活安全指導の継続
 - ・外部との連携による交通安全教室
 - ・小中合同避難訓練の実施
 - ・地域の人材や人材バンクを活用した防災教育の実施
- ② 体育的行事や授業の充実を図り、体力の向上を図る。
 - ・外遊びの励行と学習カードを活用した体育科の授業の工夫
 - ・「投げる」運動や「握力を高める」運動の推進
 - ・ロング昼休み「遊ゆうタイム」の実施
- ③ 食や健康に関する教育を推進する。
 - ・給食の喫食時間の確保と食育指導の実施
 - ・感染症の予防についての正しい理解と対策の実践

<具体的な目標>

- ・体力テストA+Bの割合 50%以上
- ・外遊びを行う児童 100%

地域とともにある学校づくり

子供の成長をとともに喜び合うために

- ① 学校からの情報発信の充実に努める。
 - ・ホームページやポータルサイト等での適切な情報発信による開かれた学校づくりの推進
- ② 保護者・地域の教育力を学校教育に生かす。
 - ・米づくり学習（通年）
 - ・サツマイモづくり学習（通年）
 - ・登下校時の交通安全指導
 - ・地域の人材や人材バンクの活用（読書ボランティア等）
- ③ 保幼小中高一貫教育を推進する。
 - ・保幼小、小小、小中交流
 - ・小中一貫きらめきプロジェクトの推進（情報モラル）
- ④ キャリア教育を推進し、自分のよさを生かして集団に貢献しようとする意識を高める。
 - ・体験学習や地域人材を活用した学習の推進
 - ・キャリアパスポートを活かした指導の充実

<具体的な目標>

- ・地域人材等の活用 各学年3回以上
- ・保幼小、小小、小中連携 各3回以上
- ・将来の夢を語る児童 80%以上

豊かな心をはぐくむ教育の推進（おもいやりのある子）

思いやりのある子を育てるために

- ① 「いじめ・不登校ゼロパック+」の実施と人権意識
 - ・「考え、議論する」道徳の授業の充実
 - ・いじめをなくそう仲間や人権集会の充実
 - ・「いじめ防止プログラム」の継続
- ② 温かな人間関係づくりのための基礎的スキルを身に付けさせる。
 - ・認知機能強化トレーニングやSGEの計画的実践
 - ・hyper-QUを活用した学級経営
 - ・相手を思いやり尊重する適切な言葉遣いの推進
 - ・情報モラル教育の充実（道徳の時間・特別活動等）
- ③ 特別支援教育的な視点による支援及び生徒指導の充実を図る。
 - ・ユニバーサルデザインを取り入れた一人一人の学びを保障する授業の実践
 - ・「認め、励まし、ほめ、伸ばす」共感的な生徒指導
- ④ 心の居場所づくり
 - ・学習環境づくり
 - ・「自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安心・安全な風土」のある学習環境
 - ・「校内フリースペース」の機能充実
 - ・4つのフリー「いつでも どこでも 何を学んでも 個に応じて」
- ⑤ 気軽に安心して相談できる教育相談を継続する。
 - ・教育相談日の周知（ICT機器の活用）
 - ・SC、SSWや専門機関との連携
- ⑥ 守谷中校区きらめきフォーラム、あいさつ運動の実施

<具体的な目標>

- ・いじめの解消率 80%以上
- ・hyper-QU学級生活満足群 50%以上
- ・「学校が楽しい」と回答する児童90%以上

○9年間を見通したつながりの教育の推進
○子ども達と向き合うための働きがい改革

○いじめ・不登校ゼロパック+（プラス）の充実
○一人一人に寄り添う特別支援教育の充実

コンプライアンス宣言

大野小学校教職員はコンプライアンスに関する研修を重ね、信頼される学校を目指します。